

科目名	宗教史 I							学期	前期
副題	宗教の歴史				授業方法	講義	担当者	土居夏樹	
ナンバリング	M2-03-061	実務経験の有無	無	関連DP	4, 5	単位数	2	他	A

授業の目的と概要

宗教は人類の営みの中で発生した文化的現象である。その歴史をたどることは、すなわち人類の営みをひもとくことにほかならない。さらに仏教史や密教史以外の宗教史を知ること、仏教や密教の有する歴史的意義がより明確になろう。この講義では、原始・古代における宗教の発生から、ギリシャ・ローマの宗教の歴史を踏まえつつ、キリスト教へとつながる宗教の歴史を概観する。

授業の到達目標

人類における宗教的営みの中で、古代の宗教やユダヤ教、キリスト教が歴史的にどのように位置付くのかについて理解する。

授業計画

1. 概論（講義の進め方等）
2. 宗教の起源
3. 古代諸文明の宗教①ーメソポタミアの宗教ー
4. 古代諸文明の宗教②ー古代エジプトの宗教ー
5. ギリシャ・ローマの神話
6. ユダヤ教の歴史①ー天地創造からエジプト脱出ー
7. ユダヤ教の歴史②ー王国の成立ー
8. ユダヤ教の歴史③ーバビロン虜囚ー
9. キリスト教の歴史①ーイエス・キリストの生涯ー
10. キリスト教の歴史②ー使徒たちの活動ー
11. キリスト教の歴史③ーローマ帝国とキリスト教ー
12. キリスト教の歴史④ー東方教会・西方教会ー
13. キリスト教の歴史⑤ー十字軍・魔女裁判ー
14. キリスト教の歴史⑥ー宗教改革ー
15. 講義のまとめ

準備学習(予習・復習)・時間

・事前に該当する宗教の歴史について調べてくる（60分）

テキスト

※プリントを配布する。

参考書・参考資料等

・『世界宗教史』I～III（ミルチア・エリアーデ著、筑摩書房） ・『図解世界五大宗教全史』（中村圭志、ディスカヴァー21）※その他、授業中に適宜紹介する。

学生に対する評価

定期試験（50%）、授業時に課す小レポート（50%）

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 宗教の歴史について大まかに理解している。
 (B) 各宗教の歴史的展開について大まかに理解している。
 (A) 各宗教の歴史的展開について大まかに説明ができる。
 (S) 上記 (C) ～ (A) を踏まえて、自説を展開できる。

課題に対するフィードバックの方法

授業内でレポートへの講評を実施する。

その他

※取り扱う内容は受講生と相談の上、変更することがある。受講生の積極的参加が必要なアクティブ・ラーニングである。